

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	<p>①ロボットの出前授業や化学に関する実験及び地域との合同防災訓練は、避難所である千葉工業高校の大きな特色の1つである。生徒の主体的な行動を促す必要がある。</p> <p>②職員研修会の充実を図る。</p> <p>③教職員の仕事を検討する必要がある。</p>	<p>①ロボットに関する出前授業や化学に関する実験を引き続き行う。地域合同の防災訓練など地域との連携の一層の充実を図るとともに、生徒に役割を持たせ主体的な体験の拡充を図る。</p> <p>②モラルアップ委員会を活用し、教職員の士気を高めるとともに、適切な職員研修会を開催する。</p> <p>③ノー残業デーを設定し、帰宅しやすい環境作りを行った。</p>
学習指導	<p>①授業等がわかりやすい評価目標を80%以上にするには、いくつかの具体策を決め、推進しないと難しいと思う。</p> <p>②課題研究発表の内容が素晴らしい。プレゼンテーション能力を高めるため、課題研究発表を積極的に行って欲しい。</p> <p>③わかりやすい授業の展開と補習の充実をお願いしたい。</p>	<p>①校内研究授業を行い、教員の授業力向上を図り、授業が分かりやすいという生徒が、80%を超えるようにする。</p> <p>②全校における課題研究発表会を更に充実させる。工業系高校人材育成コンソーシアム千葉で行う課題研究発表会や千葉大学の高校生理科研究発表会等への参加者を増やす。</p> <p>③1年生で基礎力診断テストを実施し、理数工学科では長期休業中の補習を充実させた。</p>
生徒指導	<p>①通学路は交通量が多く路肩が狭い。より充実した安全指導をお願いしたい。マナーは今後の進路にも影響する重要課題である。</p> <p>②生徒が相談しやすい環境が必要であり、担任と保護者が密接に連絡を取り、面談を行うことも重要である。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも密接に連携してもらいたい。</p>	<p>①引き続き校内での挨拶を推進し、定期的に登下校指導を行うとともに、定時制の職員と連携し、学校周辺の巡回指導を行い、事故の未然防止に努める。</p> <p>②定期的なアンケート等を実施するとともに、きめ細かな教育相談を行う。教育相談体制の充実を図り、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携し、問題の早期発見・早期解決に努める。</p>
キャリア教育	<p>①卒業生が長く勤めることの出来る地元企業へのインターンシップを進めていただきたい。</p> <p>②千葉工業高校の就職率の高さは理解できるが、離職の問題も気になるところです。きめ細やかな就職指導を行ってほしい。</p>	<p>①進路説明会の内容を充実させるとともに、生徒への進路情報の提供を積極的に行う。インターンシップの受入先の開拓を幅広く、積極的に行い、全生徒が参加するよう指導する。</p> <p>②生徒の適性を考慮し、3年間かけて計画的・組織的なキャリア教育を行う。1回目の就職試験での合格率を上げるとともに、就職希望者の内定率100%を継続する。</p>
特別活動	<p>①高校における道德教育の重要性が言われているが、規範意識の醸成のためには道德教育が必要である。</p> <p>②活発な部活動を一層充実させ、多くの生徒が活躍できるようにしてもらいたい。</p> <p>③地域行事に参加していただき、大変にうれしく思っている。</p>	<p>①道德教育推進教師を中心に、生徒の実態に即した指導案を作成し、学校全体で道德教育に取り組む。</p> <p>②部活動加入率を高め、部活動の活性化を目指す。地域への効率的な広報を行い、文化祭等の来場者を増やす。</p> <p>③地域行事への参加を引き続き行い、本校のPRの場面を増やす。</p>
特色ある教育活動	<p>①工業系高校人材育成コンソーシアム千葉の組織を更に教育活動に活用すべきである。</p> <p>②国際交流は必要ですので、交流をもっとアピールして欲しい。国際交流後の報告会等の充実をしてもらいたい。</p>	<p>①工業系高校人材育成コンソーシアム千葉の事業を通し、外部の教育力の活用を図り、産官学の連携を一層進める。</p> <p>②臺中市立東勢工業高級中等学校との姉妹校交流やメロス言語学院の留学生との交流を通し、国際教養を身に付けさせるとともに、技術者としての国際感覚を養わせる。</p>